

自民党看護問題小委員会 御中

一般社団法人日本看護学校協議会

会長 水方 智子



要 望 書

一般社団法人日本看護学校協議会は、准看護師を含めた看護基礎教育課程の約 5 割近くの学校が加盟しており、全国で唯一の看護学校の団体として、看護教育機関の質向上のために努力しています。

当協議会では、会員の看護師等養成所を対象に、2021 年 1 月～2 月に看護師等養成所の管理・運営等に関する実態調査を行いました（調査依頼 576 課程、回答 413 課程、回答率 71.7%）。その中の「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響について」の調査結果より、いくつかの課題が明らかになりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響は治まる気配をみないことから、次の事項につきましてご尽力賜りますようお願いいたします。

要 望 事 項

1. 新型コロナウイルス感染症の影響下での看護基礎教育の質の担保に向けた ICT 教育の充実
2. 看護学生及び看護教員の新型コロナワクチン接種を可能とするための施策及び PCR 検査費用の助成
3. 看護学生の学業継続のための経済的支援

1. 新型コロナウイルス感染症の影響下での看護基礎教育の質の担保に向けた ICT 教育の充実

前述調査の「2020 年度の臨地実習はどの程度実際の臨地で実施出来たか」という項目では、例年よりも実習が減少したとの回答が 8 割を超えました。また、不足分の学びや体験の補いは、8 割以上の課程でシミュレーション学習を導入しており、動画を活用した実習や、ペーパーペーシエントでの自宅学習（課題取り組み）等、各課程の教員が、質の担保に向けて様々な工夫を実施したことが明らかになりました。しかし、「臨地実習が予定通り行えなかったことが“学生の看護実践の基礎的能力”へどう影響したか」の項目では、50%以上の課程から“状況の変化に気づき対処する能力”、“人間関係を形成するコミュニケーション能力”がともに低下したと回答があり、臨地実習が実施できないことによる看護教育の質の低下が懸念されている事が明らかになりました。加えて、「学内ネットワーク（Wi-Fi や LAN ケーブル）の 2020 年度状況」の項目では、25%の課程において未だ脆弱であると回答がありました。

このことから、今後も続くであろう感染拡大の状況を踏まえ、シミュレーターなど実習補完教材及び学内ネットワーク環境の整備及び遠隔授業に伴う機材（パソコン・タブレット端末・Web カメラ等）の充実など、看護基礎教育の質の担保にむけた ICT 教育の充実への助成を要望します。

2. 看護学生・看護教員の新型コロナワクチン接種を可能とするための施策及び PCR 検査費用の助成

本年 2 月 16 日に厚生労働省健康局健康課長通知において、新型コロナウイルスワクチンの優先接種の対象に「医学部生等の医療機関に実習を行う者」が追加され、看護学生もこれに含まれていますが、未だ、希望者全員が接種を済ませた状況ではありません。また、前述調査の「臨地実習前に実習施設からの要請により、実習参加学生の PCR 検査などを行ったか」の項目では、24%の課程が実施したと回答し、30%程度の課程から検査費用を学生が負担をしたと回答がありました。

このことから、現在及び今後のワクチン接種においても、優先接種が可能となる施策とともに、PCR 等検査費用への助成を要望します。

3. 看護学生の学業継続のための経済的支援

前述調査の「新型コロナウイルス感染症流行が学生に与えた影響」の項目では、85%以上の課程から「学習に対する不安増」、60%の課程から「就職後の不安増」、50%の課程から「学びの満足感減」、41%の課程から「学費の負担増」と回答がありました。加えて、就職内定時期の遅延や退学を検討する学生数にも影響を与えたという回答もあり、新型コロナウイルス感染症が、学生達に与えた影響は多岐にわたることがわかりました。

このことから、学生が学費負担を考える事無く学業継続が出来るための経済的支援を要望します。

以上